

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
八女市祈禱院563 〒834-0025
HP: www.wing8.com/dc-city-yame/

クラッシーのバックナンバー（2010.1.1号より）がインターネットでご覧になれます。
「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

9 SEP

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
10	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 7月26日 友引	2 27日 先負 八朔花火大会 (八女市祈禱院・20:00~) べんがらの日 (べんがら村) 大浴場お一人様300円	3 28日 仏滅	4 29日 大安	5 8月1日 友引 松尾弁財天縁日 (立花町) 寺久保エレナジャズライブ (サザンクス筑後)	6 2日 先負 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	7 3日 仏滅
8 4日 大安 八女軽トラ市 (八女観光物産館「ときめき」駐車場)	9 5日 赤口	10 6日 先勝	11 7日 友引 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設)	12 8日 先負	13 9日 仏滅	14 10日 大安
15 11日 赤口 ザ・ストライプスコンサート (サザンクス筑後) 劇団リトルウイング ミュージカル公演 (おりなす八女)	16 12日 先勝 敬老の日	17 13日 友引	18 14日 先負 無料法律相談 要予約 (八女民主商工会) ☎24-2727	19 15日 仏滅	20 16日 大安 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	21 17日 赤口 あかりとちゃっぼんぼん ~23日 ちっこ祭り (前夜祭) ~22日
22 18日 先勝 滝の宮不動尊縁日 (上陽町)	23 19日 友引 秋分の日 五條家御旗祭 (黒木町)	24 20日 先負	25 21日 仏滅 不動産に関する何でも 相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	26 22日 大安 お風呂の日 (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (不動温泉八女) (公園の宿) (べんがら村)	27 23日 赤口 三遊亭歌之介独演会 (おりなす八女)	28 24日 先勝
29 25日 友引 八女歩こう会 (北九州無法松ツーデーマーチ)	30 26日 先負 べんがらの日 (べんがら村) 大浴場お一人様300円	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 9月4日・18日 黒木町ふじの里 9月4日・18日 上陽町地域福祉センター 9月11日・25日 立花町かがやき 9月11日・25日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 9月13日 黒木町ふじの里 9月20日 上陽町地域福祉センター 9月27日 司法書士相談 黒木町ふじの里 9月13日 八女市社会福祉会館 9月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院 くろぎふるさと日曜市 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ 赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒木分館) 毎月第4木曜日 午前11時~				

炎暑に惜別を告げるかのよ
うな法師蟬の声。この夏を見
送る百日紅の華文。お盆の日
の再開もすでに思い出のアル
バム。暦は新秋九月。▼8/
7嘉麻市再度訪問。念願の平
和祈念館へ。アメリカ生まれ
の青い眼の人形ペッギイちゃ
んに面会。衣裳に歳月を感じ
ながらも、平和を祈念する可
愛い瞳。軍部の焼却命令をし
のびず若い女の先生の匿いで、
生命びろいの人形。今では国
際平和のお守り人形。この可
愛いペッギイちゃんの物語を
絵本にできたらとも考える。
▼8/10旧木造校舎活用の「ふ
るさと文化館」当番。矢部中
21回卒、神奈川県警この春退
職とのK氏来館。巡回案内中
の話。「ボクが六年生の時、
書いた作文を誉め、老人会で
紹介してくださったシイマド
先生、お元気かな」「あゝ、
元氣」再会感嘆の声。「僕と
じっちゃん」と題の作文掲載
の児童文集『ねんりん』もこ
こに保存。山仕事帰りのこと。
「そりや、ばくがかるうてやろ」
じっちゃん七十三歳。袋を
とろうとすると、「いんね。
おりがかるうて行く。」遠く
の家の灯が見える夕方の山仕
事帰り。祖父を思いやる少年
の心情が素朴に綴られた内容。
勘定してみれば、四十九年ぶ
りの再読。昭和三十年代の少
年の文章力は真実、今に生き
ている。

天宮ふんより 106
百日紅の華文に
新秋の風
詩人推窓 猛